

後期基本計画 令和元年度 政策方針評価書

政 策： 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博 上下水道部長 齋藤 克也
-----------------	------------------------------

1. 政策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。	
--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	76	77	79	80	80	D
			70.6	-	-	-	-	△59.3
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	D
			69.1	-	-	-	-	△101.9
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	68.6	75.6	77.1	78.5	80	80	C
			70.6	-	-	-	-	17.5
2	幸福 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	76	77	78	80	80	D
			69.1	-	-	-	-	△0.9
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 交通事故発生件数 単位 件以下	59	71	71	71	71	71	-
			60	-	-	-	-	8.3
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	-
			67.1	-	-	-	-	0.0
5	暮らし 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	0	1	1	0	0	0	A
			0	-	-	-	-	0.0
6	幸福 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	75	77	78	80	80	D
			69.1	-	-	-	-	△0.9

後期基本計画 令和元年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 齋藤 克也

2. 政策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地に関連した向新田線について、関係者との協議を進め詳細設計業務実施しました。 ・小岩井駅前広場の整備に向けて用地買収を実施しました。 ・土石流危険区域への砂防施設を要望した2箇所について、整備に向け事業採択されました。 ・水安全計画等に基づき安全な水の安定供給を図るとともに、老朽施設の更新と配水管の耐震化を推進しました。 ・料金徴収業務のモニタリングの実施などにより、業務の適正化、効率化と利用者サービスの向上を図りました。 ・小岩井地区等で下水道整備を推進するとともに、鶴飼地区で老朽取付管の更生工事を実施しました。下水道区域外においては合併処理浄化槽の普及促進を図りました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けた土地利用関連事務について、熟度に応じて関係機関との協議・調整を進めます。 ・度重なる豪雨等による浸水対策について、内水対策も含めた安全対策を検討し実施します。 ・老朽施設の更新と耐震化の推進及び既存水源の有効活用と緊急時のバックアップ機能強化に向けた連絡管等の整備 ・老朽下水道施設の改築等による不明水対策の推進及び公共下水道の接続率向上のための取組 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心拠点地域の整備に係る土地利用の計画について、関係者との協議、向新田線道路事業との調整を行いました。 ・準用河川仁沢瀬川について用地測量を進めるとともに、菓子川では過去に被災した箇所の護岸工事を実施しました。 ・老朽水道施設の更新と配水管の耐震化工事を実施し、既存水源の有効活用等を検討をしました。 	

3. 政策の実現に向けて令和元年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業における社会資本整備総合交付金等の財源確保 ・水道事業の基盤強化をねらいとした改正水道法の施行 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業経営計画（基本計画）の見直し及び中期経営計画（後期）の策定 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金の内示率が低いことから、優先順位を考慮し市民の求めるニーズに基づき事業を展開する必要があります。 ・コスト削減、適正な料金設定等による安定経営に努めながら、施設の老朽化や災害対策、耐震化等を計画的に進めるなど、持続可能な上下水道事業経営を目指します。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改築などの事業が計画のとおり進まないことから、財源確保を含めて地域と協議し進める必要がある。 ・空き家等対策計画策定に向けて、法定協議会協議会設置などを進める必要がある。 ・協働除雪など市民との協働による事業をさらに進める必要がある。 ・水道料金の改定に向けた検討及び準備作業の実施 ・令和2年度に策定予定のアセットマネジメント計画に基づく、下水道施設の更新、効率的な維持管理等の実施 	

